

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	栃木県芳賀家庭教育支援チーム (呼称: 県東親育ちスマイルネット)
②活動拠点	真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町・那須烏山市・那珂川町
③活動範囲	真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町・那須烏山市・那珂川町 全域
④組織体制	67 人 親学習プログラムファシリテーター67 人
⑤活動開始年度	平成19 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 茂木町教育委員会 生涯学習課 社会教育係 (TEL)0285-63-1137 (E-mail)syougai.gakusyu@town.motegi.tochigi.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p style="text-align: center;">③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>1 「親学習プログラム」による支援 就学時健康診断や家庭教育学級、保護者会・PTA 研修、子育て講座（保育園・幼稚園）等において、親学習プログラムを展開している。</p> <p>2 指導者研修会 R2年度は、11月19日に『発見しよう 新しい親学』をテーマに、家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修を実施した。密にならない新しいアイスブレイクを学んだ後、段ボール等を材料に「携帯卓上シールド」を製作した。</p> <p>3 各支部ごとの活動事例 〈茂木支部〉 R2年度は、初めて、管内高等学校の2年生7名・3年生7名を対象に、選択科目の「生活と福祉」の授業において、『コロナ感染者いじめ』のエピソードを使用した親学を実施した。</p> <p>〈芳賀支部〉 親学習プログラムでは、「おしゃべり会」という時間に子育ての心配ごとや悩みなどを話す場を設けている。みんなで知恵を出し合い、楽しみながら学び、友だちや仲間づくりのきっかけをつくっている。</p> <p>〈真岡支部〉 就学時健診時の親学習プログラムでは、「我が子自慢シート」や「心配ごとありますかシート」を活用し、仲間づくりや学校とつながるきっかけをつくっている。</p>
<p style="text-align: center;">④活動の成果 （活動実績がある場合）</p>	<p>○プログラムを実施することで</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子供の小学校入学を控えた保護者同士の交流の手助けができた。交流をきっかけとした仲間作りや関係づくりに役立った。（就学時健康診断から） ② 子育てに関する不安や心配について、保護者同士が課題を共有することで、課題解決の糸口を見つげられた。（家庭教育学級から） ③ 保護者と学校が同じテーマで話し合いを行うことで、子供や学校の現状を知るきっかけとなった。保護者と学校の距離が近くなり、互いに理解を深め合えた。（保護者会・PTA 研修から） ④ 子育て世代の保護者が、互いに悩みや不安を共有することで、相談相手ができたり、先輩ママからアドバイスをもらえたりする場となり、地域の関わりを増やすことができた。（子育て講座から） ⑤ コロナ感染者いじめのエピソードを通して、「自分が言われて嫌なことを人に言うべきではない」、「差別をしてはいけない」ということを知ってもらう機会となった。 ⑥ コロナへの恐怖・誹謗中傷・死への恐怖と、もし自分が感染した時の家族への感染の不安などを考え直す機会となった。



【卓上携帯シールド作成の様子】

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>
------------------------------------	--